

第 1 号議案 令和 2 年度事業報告 (案)

令和 2 年度においては、次のように事業を実施した。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染予防のため国の基準に合わせ、緊急事態宣言が出た 5 月に 1 か月休館の措置をとった。その後開館してからもマスクの着用、手の消毒の推奨、売店や受付に飛沫感染防止のためシールドの設置を行った。また密集・密接を避けるため記念館内への入館者数の上限を 40 名に制限した。紙漉き体験をする手漉き和紙伝習所では 15 名程度の入場制限を行った。

体温計は設置せず来館者名簿も作っていないが、個人、団体とも連絡先を必ず記入する措置を常時行った。

(公益事業)

1. 展示活動について

① 常設展示 「安部榮四郎の軌跡と民芸作家作品展」

展示は常設のみで行った。昭和初期から民芸運動を縁に松江を訪れていた柳宗悦、バーナード・リーチ、河井寛次郎、棟方志功等の作品を展示した。

展示の説明や展示品のキャプションを海外の方にも分かりやすく英語・フランス語で表記し、展示の説明文に関しては冊子を作成した。

尚こうした取り組みは、インバンド効果が大きく当初令和 3 年度は約 1,000 名の海外からの来館者を予定していたが、新型コロナウイルスのパンデミックによりすべてキャンセルとなった。

展示期間： 令和 2 年 4 月～令和 3 年現在

2. 和紙普及活動について

① 手すき和紙伝習所において

・紙すき体験の受入れ

予約制で一人から学校団体まで受入れ、人数と時間によって紙すき内容を変え対応した。例年通り八雲幼保園、小学校・中学校、及び松江市内保育園幼稚園等が卒業証書を漉いた。

またこれまで来館のなかった近隣の高等学校の遠足、小・中学校の修学旅行などが来館し体験学習を行った。

② 「紙楽塾」 (しがくじゅく) の開催

一般参加の和紙工芸体験を開催。ロビーにおける少人数のワークショップを開催した。

手すき和紙伝習所で漉いた和紙で箱ライト作りや夏休みに和紙を使った額絵作りのワークショップを 6 回開催した。参加者 30 名。

また、八雲塾「紙ってどうして出来るの？三桎皮はぎから紙すきまで」

(第 31 回) を 2 月 6 日に開催。年に 1 度の冬の風物詩で紙の原木三桎を古式の方法で蒸し、皮をはぎ、紙料を作り、紙すきまでの工程を体験した。八雲公民館より 8 名参加。(コロナの影響で参加者は例年に比べ少なかった。)

③ 和紙を未来へ繋ぐ事業実行委員会の事業について

文化庁の博物館に対する事業支援「地域と共働した博物館創造活動支援事業」に応募し認可をうけた。(令和2年から3年計画で実施予定)全国72件中6位通過し令和2年度は以下の活動を行った。詳細は記念館ホームページやチラシ QR コードの読み取り、また事業報告書に記載している。

(ア) 原料栽培と体験・和紙開発

目的は今後国内産の原料が不足していくことに対し危機感があり、栽培の方法を確立し和紙の継続に寄与する。また体験プログラムにおける手漉き和紙の良さは紙漉きだけでは伝わらないので、漉いた紙を日常生活で応用するうちわ、写真、ライト、トレー作りなどのワークショップを行った。(チラシ参照)

- 広瀬町和紙職人・長島勲氏の休耕田を借りトロロアオイを栽培
- 三極の試験栽培：挿し木・種の採取・苗木の植樹
- 体験プログラムの実施(チラシ参照)ここで行う体験は和紙を作る過程としてレシピ本に掲載する。

(イ) 技術記録とレシピ本作成の準備

近い将来手漉き和紙が無くなるのではないかと危機感から、今出来る記録の方法で和紙の制作技術を記録し、レシピ本を作成し後世に伝えることを目的としている。栽培も含め(ア)で行ったことはレシピ本に書き残す。

- 八雲町の三極分布調査及び高齢者からの聞き取り調査を行い三極栽培地の候補を決定した。
- 出雲民藝紙の漉く技術は安部榮四郎が原料の特徴を出せるよう独自に開発したもので、その技術を記録するため使用する道具類や漉く時の動作などを記録した。実行委員会の構成メンバーである松江工業高等専門学校の准教授片山優氏と学生により安部信一郎・紀正2名の技術をデータ化した。

(ウ) 全国手漉き和紙生産者アンケート調査の準備

- 令和2年度の予定は設問の設定と、全国手漉き和紙用具製作技術保存会(高知県伊野町)と連携し、アンケート調査を行う準備段階であった。手漉き和紙の定義があいまいなため、これまでの調査に機械漉き和紙の生産者も含まれていた。今回2回目の調査では手漉き和紙に絞ることとした。そうすることで紙漉き用具生産者と連携しお互いを結びつける役割をはたすことができる。

機械すきについて調査をするべきであったが、コロナ禍の中での出張が容易ではなく断念した。

用具製作技術者会事務局には、12月日帰りで打ち合わせ会議をして、状況の聞き取り、名簿の提出をうけた。令和3年度にアンケートを実施する。

(収益事業)

コロナの影響により入館者が大きく落ち込んだため、売店収入は大きく落ち込んだ。

国による持続化給付金200万円、松江市からの給付金10万円、国が実施した家賃補助金26,664円を受給した。このことにより当初計画していた収益事業の収益の損失を補填することが出来た。

(株)しゅんこうより土地賃貸料がはいった。

(法人事業)

① 役員会の開催

- ・令和2年度5月29日 理事会開催

令和元年度事業報告、決算及び財務諸表、評議員会の日時等について審議し決定承認した。

- ・令和2年度6月15日 みなし評議員会開催

令和元年度事業報告、決算及び財務諸表を書面により承認決議した。

- ・令和3年3月2日 理事会開催

令和2年度補正予算、令和3年度事業計画と予算、評議員会の日時等について審議し決定承認した。

- ・令和3年3月17日 みなし評議員会を開催

令和2年度補正予算、令和3年度事業計画と予算の報告を書面により承認決議した。

② 令和2年5月23日に長島、長澤両監事による監査が実施された。

入館者数

	有 料								無料		
	個人入館者数				優待者入館者数				小計		
月日	大人	大 高 生	中小 生	計	大人	大高 生	中小 生	計		合計	
4月計	3	0	0	3	4	0	2	6	9	23	32
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
6月計	4	0	0	4	3	0	0	3	7	36	43
7月計	10	0	0	10	10	0	0	10	20	66	86
8月計	23	4	4	31	3	0	2	5	36	59	95
9月計	18	0	0	18	5	0	2	7	25	16	41
10月計	43	0	3	46	24	103	82	209	255	75	330
11月計	67	0	0	67	26	0	1	27	94	205	299
12月計	5	2	0	7	0	0	0	0	7	34	41
1月計	10	0	0	10	2	0	55	57	67	21	88
2月計	29	29	4	62	4	0	0	4	66	44	110
3月計	57	3	0	60	7	85	0	92	152	43	195
合計	269	38	11	318	88	188	144	420	738	629	1367
	75	103	27	73	11	369	58	40	50	70	57
2019 合計	357	37	41	435	746	51	249	1046	1481	897	2378

体験教室参加者数

	有 料				無料	
月日	大人	大高生	中小生	幼児		合計
4月計	12	0	2	0	6	20
5月計	0	0	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	24	24
7月計	8	0	0	19	5	32
8月計	3	4	46	1	36	90
9月計	7	0	2	0	18	27
10月計	15	103	5	48	6	177
11月計	44	0	55	75	37	211
12月計	2	1	0	0	20	23
1月計	8	0	55	2	11	76
2月計	20	18	4	8	21	71
3月計	28	87	8	0	5	128
合計	147	213	177	153	189	879
	24	387	57	82	82	62
2019 合計	624	55	313	187	231	1410

財 産 目 録

令和 3 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	場 所 等	物 量	使用目的等	金 額
I 資 産 の 部				
1 流 動 資 産				
現 金 ・ 預 金	手元保管		運転資金として	60,421
現 金	島根県農協／八雲支店		運転資金として	101,954
普 通 預 金	山陰合同銀行／古志原支店		運転資金として	1,068,750
	八雲郵便局		運転資金として	139,048
	振替口座①		運転資金として	1,586
	振替口座②		運転資金として	614
	山陰合同銀行／八雲代理店			-
定 期 預 金	山陰合同銀行／八雲			5,007,213
前 払 金	国債額面価額超過額未経過分			25,600
				85,878
流 動 資 産 合 計				6,491,064
2 固 定 資 産				
(1) 基 本 財 産				
土 地	設立者寄付土地（記念館敷地）	1191.07 m ²	公益目的保有で、記念館敷地使用	3,823,307
利 付 国 債				20,000,000
所 蔵 品	設立者寄付所蔵品	817 点	公益目的保有で、展示事業に使用	157,048,500
定 期 預 金	島根県農協／八雲支店			10,000,000
基 本 財 産 合 計				190,871,807
(2) そ の 他 固 定 資 産				
建 物	記念館	434.08 m ²	公益目的保有で、1階に売店あり	89,203,856
	伝習所	77.53 m ²	公益目的保有で、体験教室使用	5,680,000
	伝習所	17.57 m ²	公益目的保有で、体験教室使用	4,200,000
構 築 物	庭園、塀、舗装路面、防壁			7,263,126
什 器 備 品	応接セット、書棚、陳列台ほか			5,109,320
建 物 付 属 設 備	電気、災害報知、給排水設備			9,809,999
手 漉 和 紙 伝 習 設 備	手漉き和紙伝習設備		公益目的保有で、体験教室使用	890,000
減 価 償 却 累 計 額	減価償却累計額			499,500,817
電 話 加 入 権	電話加入権			81,140
そ の 他 固 定 資 産 合 計				22,736,624
固 定 資 産 合 計				213,608,431
資 産 合 計				220,099,495
II 負 債 の 部				
1 流 動 負 債				
前 受 金	（株）しゅんこう 前受貸貸料			9,000,000
預 り 金	源泉所得税		31年1～3月分	21,218
	社会保険料		31年2～3月分	
売 店 預 り 金	受託販売			246,493
流 動 負 債 合 計				9,267,711
負 債 合 計				9,267,711
正 味 財 産				210,831,784

貸借対照表

令和 3 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金	60,421	26,343	34,078
預 金	6,319,165	6,158,577	160,588
前 払 金	25,600	25,600	0
仮 払 金	85,878	0	85,878
流 動 資 産 合 計	6,491,064	6,210,520	280,544
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
土 地	3,823,307	3,823,307	0
利 付 国 債	20,000,000	20,000,000	0
所 蔵 品	157,048,500	157,048,500	0
定 期 預 金	10,000,000	10,000,000	0
基 本 財 産 合 計	190,871,807	190,871,807	0
(2) そ の 他 固 定 資 産			
建 物	99,083,856	99,083,856	0
構 築 物	7,263,126	7,263,126	0
什 器 備 品	5,109,320	5,109,320	0
建 物 付 属 設 備	9,809,999	9,809,999	0
手 漉 和 紙 伝 習 設 備	890,000	890,000	0
減 価 償 却 累 計 額	△99,500,817	△98,329,257	△1,171,560
電 話 加 入 権	81,140	81,140	0
そ の 他 固 定 資 産 合 計	22,736,624	23,908,184	△1,171,560
固 定 資 産 合 計	213,608,431	214,779,991	△1,171,560
資 産 合 計	220,099,495	220,990,511	△891,016
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
前 受 金	9,000,000	10,000,000	△1,000,000
預 り 金	21,218	21,653	△435
売 店 預 り 金	246,493	216,370	30,123
流 動 負 債 合 計	9,267,711	10,238,023	△970,312
負 債 合 計	9,267,711	10,238,023	△970,312
III 正 味 財 産 の 部			
1 一 般 正 味 財 産	210,831,784	210,752,488	79,296
(内 基 本 財 産 へ の 充 当 額)	(190,871,807)	(190,871,807)	(0)
正 味 財 産 合 計	210,831,784	210,752,488	79,296
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	220,099,495	220,990,511	△891,016

正味財産増減計算書

令和 2 年 4 月 1 日から 令和 3 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	(1,201,000)	(1,201,002)	(Δ2)
基本財産受取利息	201,000	201,002	Δ2
基本財産受取賃貸料	1,000,000	1,000,000	0
② 事業収益	(2,086,818)	(3,069,627)	(Δ982,809)
入館料収入	249,200	549,900	Δ300,700
伝習所運営収入	583,000	833,370	Δ250,370
売店収入	1,254,618	1,686,357	Δ431,739
③ 受取補助金等	(606,000)	(606,000)	(0)
受取地方公共団体補助金	606,000	606,000	0
④ 受取寄付金	(1,200,000)	(1,200,000)	(0)
受取寄付金	1,200,000	1,200,000	0
⑤ 雑収益	(2,134,520)	(8,695)	(2,125,825)
受取利息	7,256	105	7,151
雑収入	2,127,264	8,590	2,118,674
経常収益計	7,228,338	6,085,324	1,143,014
(2) 経常費用			
① 事業費	(6,024,966)	(6,858,946)	(Δ833,980)
事業経費			
給料手当	1,807,880	1,547,000	260,880
臨時雇賃金	88,600	394,370	Δ305,770
福利厚生費	283,500	284,209	Δ709
旅費交通費	11,400	20,400	Δ9,000
通信運搬費	145,069	150,794	Δ5,725
減価償却費	1,078,188	1,143,597	Δ65,409
消耗品費	44,940	64,950	Δ20,010
修繕費	13,200	80,000	Δ66,800
印刷製本費	693,000	605,000	88,000
光熱水料費	388,185	467,382	Δ79,197
賃借料	397,827	405,044	Δ7,217
保険料	84,983	86,106	Δ1,123
諸謝金	55,033	0	55,033
雑費	512,301	433,418	78,883
広告宣伝費	22,550	365,340	Δ342,790
調査研究費	0	400,000	Δ400,000
研修教材費	398,310	411,336	Δ13,026
事業費計	6,024,966	6,858,946	Δ833,980

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管 理 費			
会 議 費	18,700	23,880	△5,180
通 信 運 搬 費	30,983	26,070	4,913
減 価 却 費	93,372	96,721	△3,349
消 耗 品 費	87,981	12,442	75,539
修 繕 費	20,350	8,229	12,121
印 刷 製 本 費	0	20,900	△20,900
光 熱 水 料 費	3,339	4,766	△1,427
賃 借 料	32,931	36,108	△3,177
保 険 料	1,969	846	1,123
諸 謝 金	192,537	261,720	△69,183
租 税 公 課	0	1,000	△1,000
負 担 金	88,200	119,200	△31,000
支 払 利 息	0	12,800	△12,800
雑 費	325,013	307,593	17,420
広 告 宣 伝 費	0	24,992	△24,992
管 理 費 計	895,375	957,267	△61,892
経 常 費 用 計	6,920,341	7,816,213	△895,872
評価損益等調整前当期経常増減額	307,997	△1,730,889	2,038,886
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当 期 経 常 増 減 額	307,997	△1,730,889	2,038,886
2 経 常 外 増 減 の 部			
(1) 経 常 外 収 益			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	307,997	△1,730,889	2,038,886
法人税、住民税及び事業税	228,701	210,500	18,201
当期一般正味財産増減額	79,296	△1,941,389	2,020,685
一般正味財産期首残高	210,752,488	212,693,877	△1,941,389
一般正味財産期末残高	210,831,784	210,752,488	79,296
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正 味 財 産 期 末 残 高	210,831,784	210,752,488	79,296

正味財産増減計算書内訳表

令和 2 年 4 月 1 日から 令和 3 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法人会計	
	公益目的事業	小計	売店等事業	貸貸事業	小計	法人管理	小計
I 一般正味財産増減の部							
1 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 基本財産運用益	0	0	0	1,000,000	1,000,000	201,000	201,000
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	201,000	201,000
基本財産受取賃貸料	0	0	0	1,000,000	1,000,000	0	0
② 事業収益	832,200	832,200	1,249,418	0	1,252,418	0	0
入館料収入	249,200	249,200	0	0	0	0	0
伝票所運営収入	583,000	583,000	0	0	0	0	0
売店収入	0	0	1,249,418	0	1,252,418	0	0
③ 受取補助金等	606,000	606,000	0	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金	606,000	606,000	0	0	0	0	0
④ 受取寄付金	1,200,000	1,200,000	0	0	0	0	0
受取寄付金	1,200,000	1,200,000	0	0	0	0	0
⑤ 雑収益	0	0	2,127,264	7,256	2,134,520	0	0
受取利息	0	0	0	7,256	7,256	0	0
雑収益	0	0	2,127,264	0	2,127,264	0	0
経常収益計	2,638,200	2,638,200	3,276,682	1,007,256	4,350,938	201,000	201,000
(2) 経常費用							
① 事業費	4,086,261	4,086,261	1,932,936	0	1,932,936	5,769	5,769
給料	503,941	503,941	503,939	0	503,939	0	0
臨時雇賃金	44,300	44,300	44,300	0	44,300	0	0
福利厚生費	141,753	141,753	141,747	0	141,747	0	0
旅費	5,700	5,700	5,700	0	5,700	0	0
通信費	104,879	104,879	40,190	0	40,190	0	0
減価償却費	943,374	943,374	134,814	0	134,814	0	0
消耗品費	41,356	41,356	3,584	0	3,584	0	0
修繕費	13,200	13,200	0	0	0	0	0
印刷製本費	253,000	253,000	440,000	0	440,000	0	0
光熱水料	371,931	371,931	15,645	0	15,645	609	609
賃借料	360,609	360,609	35,080	0	35,080	2,138	2,138
保険料	72,119	72,119	12,864	0	12,864	0	0
雑費	51,696	51,696	3,337	0	3,337	0	0
経常費用計	4,086,261	4,086,261	1,932,936	0	1,932,936	5,769	5,769
経常増減額	△1,448,061	△1,448,061	1,443,712	1,007,256	2,453,968	△700,110	△700,110
当期経常増減額	△1,448,061	△1,448,061	1,443,712	1,007,256	2,453,968	△700,110	△700,110
2 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△1,448,061	△1,448,061	1,443,712	1,007,256	2,453,968	△700,110	△700,110
法人税、住民税及び事業税	0	0	153,000	75,700	228,700	1	1
当期一般正味財産増減額	△1,448,061	△1,448,061	1,290,712	931,556	2,225,268	△700,111	△700,111
一般正味財産増減高	△13,214,602	△13,214,602	△68,631,235	1,681,400	△66,949,835	290,918,925	290,918,925
一般正味財産原火増高	△14,062,663	△14,062,663	△67,340,523	2,612,956	△64,727,567	290,216,814	290,216,814
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法人会計	
	公益目的事業	小計	売店等事業	貸貸事業	小計	法人管理	小計
雑費	357,543	357,543	151,736	0	151,736	3,022	3,022
広報費	22,550	22,550	0	0	0	0	0
事務費	398,310	398,310	0	0	0	0	0
事業費計	4,086,261	4,086,261	1,032,936	0	1,032,936	5,769	5,769
② 管理費							
会議費	0	0	0	0	0	18,700	18,700
通信費	0	0	0	0	0	20,983	20,983
減価償却費	0	0	0	0	0	93,372	93,372
消耗品費	0	0	0	0	0	67,981	67,981
修繕費	0	0	0	0	0	20,350	20,350
光熱水料	0	0	0	0	0	3,339	3,339
賃借料	0	0	0	0	0	32,931	32,931
保険料	0	0	0	0	0	1,969	1,969
雑費	0	0	0	0	0	192,537	192,537
負債	0	0	0	0	0	88,200	88,200
雑費	0	0	34	0	34	324,979	324,979
管理費計	0	0	34	0	34	895,341	895,341
経常費用計	4,086,261	4,086,261	1,032,970	0	1,032,970	901,110	901,110
経常増減等調整前当期経常増減額	△1,448,061	△1,448,061	1,443,712	1,007,256	2,453,968	△700,110	△700,110
経常増減等調整後当期経常増減額	△1,448,061	△1,448,061	1,443,712	1,007,256	2,453,968	△700,110	△700,110
2 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△1,448,061	△1,448,061	1,443,712	1,007,256	2,453,968	△700,110	△700,110
法人税、住民税及び事業税	0	0	153,000	75,700	228,700	1	1
当期一般正味財産増減額	△1,448,061	△1,448,061	1,290,712	931,556	2,225,268	△700,111	△700,111
一般正味財産増減高	△13,214,602	△13,214,602	△68,631,235	1,681,400	△66,949,835	290,918,925	290,918,925
一般正味財産原火増高	△14,062,663	△14,062,663	△67,340,523	2,612,956	△64,724,567	290,216,814	290,216,814
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0

(單位：元)

科 目	公益目的事業會計		公益事業會計			法人會計	
	公益目的事業	小計	商店等事業	賃貸事業	小計	法人管理	小計
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
正味財産期末残高	314,662,663	314,662,663	267,340,523	2,612,986	269,953,509	290,216,814	290,216,814

収 支 計 算 書

令和 2 年 4 月 1 日から 令和 3 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
I 一 般 正 味 財 産 増 減 の 部				
1 経 常 増 減 の 部				
(1) 経 常 収 益				
① 基 本 財 産 運 用 益	(1,201,000)	(1,201,000)	(0)	
基 本 財 産 受 取 利 息	201,000	201,000	0	
基 本 財 産 受 取 賃 貸 料	1,000,000	1,000,000	0	
② 事 業 収 益	(1,850,000)	(2,086,818)	(Δ236,818)	
入 館 料 収 入	200,000	249,200	Δ49,200	
伝 習 所 運 営 収 入	450,000	583,000	Δ133,000	
売 店 収 入	1,200,000	1,254,618	Δ54,618	
③ 受 取 補 助 金 等	(606,000)	(606,000)	(0)	
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金	606,000	606,000	0	
④ 受 取 寄 付 金	(1,200,000)	(1,200,000)	(0)	
受 取 寄 付 金	1,200,000	1,200,000	0	
⑤ 雑 収 益	(2,128,000)	(2,134,520)	(Δ6,520)	
受 取 利 息	1,000	7,256	Δ6,256	
雑 収 入	2,127,000	2,127,264	Δ264	
経 常 収 益 計	6,985,000	7,228,338	Δ243,338	
(2) 経 常 費 用				
① 事 業 費				
事 業 経 費	(6,183,000)	(6,024,966)	(158,034)	
給 料 手 当	1,668,000	1,807,880	Δ139,880	
臨 時 雇 賃 金	160,000	88,600	71,400	
福 利 厚 生 費	280,000	283,500	Δ3,500	
旅 費 交 通 費	15,000	11,400	3,600	
通 信 運 搬 費	150,000	145,069	4,931	
減 価 償 却 費	1,115,000	1,078,188	36,812	
消 耗 品 費	70,000	44,940	25,060	
修 繕 費	15,000	13,200	1,800	
印 刷 製 本 費	700,000	693,000	7,000	
光 熱 水 料 費	450,000	388,185	61,815	
賃 借 料	400,000	397,827	2,173	
保 険 料	90,000	84,983	5,017	
諸 謝 金	60,000	55,033	4,967	
雑 費	450,000	512,301	Δ62,301	
広 告 宣 伝 費	50,000	22,550	27,450	
調 査 研 究 費	10,000	0	10,000	
研 修 教 材 費	500,000	398,310	101,690	
事 業 費 計	6,183,000	6,024,966	158,034	

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
② 管 理 費				
会 議 費	20,000	18,700	1,300	
通 信 運 搬 費	30,000	30,983	△983	
減 価 償 却 費	56,000	93,372	△37,372	
消 耗 品 費	60,000	87,981	△27,981	
修 繕 費	21,000	20,350	650	
光 熱 水 料 費	4,000	3,339	661	
賃 借 料	60,000	32,931	27,069	
保 険 料	2,000	1,969	31	
諸 謝 金	220,000	192,537	27,463	
租 税 公 課	1,000	0	1,000	
負 担 金	120,000	88,200	31,800	
支 払 利 息	13,000	0	13,000	
雑 費	330,000	325,013	4,987	
広 告 宣 伝 費	10,000	0	10,000	
管 理 費 計	947,000	895,375	51,625	
経 常 費 用 計	7,130,000	6,920,341	209,659	
評価損益等調整前当期経常増減額	△145,000	307,997	△452,997	
評 価 損 益 等 計	0	0	0	
当 期 経 常 増 減 額	△145,000	307,997	△452,997	
2 経 常 外 増 減 の 部				
(1) 経 常 外 収 益				
経 常 外 収 益 計	0	0	0	
(2) 経 常 外 費 用				
経 常 外 費 用 計	0	0	0	
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	△145,000	307,997	△452,997	
法人税、住民税及び事業税	0	228,701	△228,701	
当期一般正味財産増減額	△145,000	79,296	△224,296	
一般正味財産期首残高	0	210,752,488	△210,752,488	
一般正味財産期末残高	△145,000	210,831,784	△210,976,784	
II 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正 味 財 産 期 末 残 高	△145,000	210,831,784	△210,976,784	

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定率法

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式により処理しております。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土 地	3,823,307	0	0	3,823,307
利 付 国 債	20,000,000	0	0	20,000,000
所 蔵 品	157,048,500	0	0	157,048,500
定 期 預 金	10,000,000	0	0	10,000,000
合 計	190,871,807	0	0	190,871,807

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
土 地	3,823,307	0	(3,823,307)	0
利 付 国 債	20,000,000	0	(20,000,000)	0
所 蔵 品	157,048,500	0	(157,048,500)	0
定 期 預 金	10,000,000	0	(10,000,000)	0
合 計	190,871,807	(0)	(190,871,807)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	99,083,856	77,427,702	21,656,154
構 築 物	7,263,126	6,763,806	499,320
什 器 備 品	5,109,320	4,609,314	500,006
建 物 付 属 設 備	9,809,999	9,809,996	3
手 漉 和 紙 伝 習 設 備	890,000	889,999	1
電 話 加 入 権	81,140	0	81,140
合 計	122,237,441	99,500,817	22,736,624

5. 保証債務等の偶発債務

該当事項ありません。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当事項ありません。

7. 重要な後発事象

該当事項ありません。

8. その他

前受金を原資とする定期預金の預金利子収入は、収益事業として計上してある。

監査報告書

公益財団法人 安部榮四郎記念館

理事長 安部信一郎 殿

令和 3年 6 月 2 日

公益財団法人 安部榮四郎記念館

監事

長島 譲 

公益財団法人 安部榮四郎記念館

監事

長澤 広明 

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1、監査の方法及びその内容

各監事は、理事および使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2、監査意見

(1)事業報告の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2)計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

第3議案 任期満了にともなう評議員、監事、理事選任候補者の推薦名簿の件
以下の方々を次期評議員候補者及び役員候補者として評議員会へ推薦します。

評議員候補者名簿

氏名	備考
石原英紀	現評議員
杉原登司夫	現評議員
野坂 裕	現評議員
藤田 勝	現評議員
永原和男	現評議員
矢野初二	現評議員

理事候補者名簿

氏名	備考
藤田彰裕	現理事
米田裕幸	現理事
青砥誠一	現理事
澤田暉夫	現理事
安部信一郎	現理事
安部紀正	現理事

監事候補者名簿

氏名	備考
長澤廣朋	現監事
白鹿倭文	新任

公益財団法人安部榮四郎記念館
令和3年第1回理事会議事録

- 1 開催日時 令和3年6月8日(火)12時～13時30分
- 2 開催場所 五幸和室 (松江市上乃木4丁目21-7)
- 3 理事現在数及び定足数
現在数 6名、定足数 4名
- 4 出席理事数 6名
(本人出席) 安部信一郎 澤田暉夫 米田裕幸 青砥誠一 安部紀正 藤田彰裕
(監事出席) 長澤広朋
- 5 議案
第1号議案「令和2年度事業報告」の件
第2号議案「令和2年度決算及び財務諸表」の件
第3号議案「任期満了にともなう評議員、役員(理事、監事)選任候補者推薦名簿」の件
第4号議案「定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等」の件
- 6 議事の経過及びその結果
 - (1) 定足数の確認等
冒頭で安部理事長が定足数の充足を確認し、続いて同理事長から本会議の議事進行及び議案資料について説明があった。
 - (2) 議案の審議状況及び議決結果等
定款の規定に基づき、安部理事長が議長となり、本会議の成立を宣し、議案の審議に移った。
議事録署名人は、定款第40条の規定にもとづき、安部信一郎理事長、長澤広朋監事とし、議案の審議に移った。
第1号議案「令和2年度事業報告」の件
第2号議案「令和2年度決算及び財務諸表」の件
理事長より資料にもとづき第1号議案ならびに第2号議案について詳細説明があった。
コロナの影響で前年に比べ入館者が57%に減少したため事業収入で予定していた収益はあげることができなかったが、持続化給付金200万円、松江市からの支援金10万円、家賃補助26000円の補助を受け、何とか予定していた収益分を確保することができたことが報告された。
続いて議長の求めに応じて、長島監事より監査方法の概要及び監査意見として、財務諸表等が会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産状況を正しく示していること、事業報告の内容が事実であることが報告された。
審議の結果、第1号議案及び第2号議案のいずれも原案通り出席理事全員一致で可決承認した。
第3号議案「任期満了にともなう評議員、役員(理事、監事)選任候補者推薦名簿」の件
議長が、記念館評議員、理事、監事が任期満了をむかえるので、定時評議員会に対して

評議員、理事、監事の選任候補者を理事会として推薦したいとのべ候補者名簿を提案した。

審議の結果、評議員、理事、監事選任推薦候補者名簿を原案通り出席理事全員一致で可決承認した。

第4号議案「定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等」の件

議長より、コロナ感染者の報告が一時期に比べ少なくなったとはいえ、引き続き感染予防の注意が必要な状況が続いているので、今回の定時評議員会は評議員全員の同意書によるみなし決議にて決議いただくため、本理事会でその方法を決議し評議員に対して書面評議員会を通知することにつき、審議いただきたいとの提案があった。

審議の結果、原案通り出席理事全員一致で可決承認した。

以上を持って議案の審議等を終了したので、13時30分、議長は閉会を宣し解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

令和3年6月8日

代表理事

安部信一郎



監事

長澤広朋



ED



第3議案 任期満了に伴う評議員選任の件

理事会として以下の方々を次期評議員に推薦いたします

評議員候補者名簿

氏名	備考
石原英紀	現評議員
杉原登司夫	現評議員
野坂 裕	現評議員
藤田 勝	現評議員
永原和男	現評議員
森山信雄	新任

第4号議案 任期満了に伴う役員選任の件

理事会として以下の方々を次期役員に推薦いたします。

理事候補者名簿

氏名	備考
藤田彰裕	現理事
米田裕幸	現理事
青砥誠一	現理事
澤田暉夫	現理事
安部信一郎	現理事
安部紀正	現理事

監事候補者名簿

氏名	備考
長澤廣朋	現監事
白鹿倭文	新任

公益財団法人 安部榮四郎記念館
令和3年第2回理事会

1、理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

第1号議案

令和3年度第1回定時評議員会に対して提案していた次期評議員推薦者のうち、矢野初二氏急死にともない森山信雄氏を次期評議員推薦者に変更すること。

2、理事会の決議があったものとみなされた事項を提案した理事 安部信一郎

3、理事会の決議があったものとみなされた日 令和3年6月11日

4、理事会議事録の作成に係る職務を行った理事 安部信一郎
理事数 6名 (同意書別添のとおり)

令和3年6月10日、理事 安部信一郎が理事会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき令和3年6月11日までに理事の全員から書面により同意の意思表示を得たので、定款第38条（一般法人法第96条）に基づく理事会の決議の省略の方法により、当該提案を承認可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

以上のとおり、理事会の決議があったとみなされた事項を明確にするため、本議事録作成に係る職務を行った理事は、次に記名押印する。

令和3年 6 月 11 日

代表理事 安部信一郎



公益財団法人 安部榮四郎記念館 令和3年度第1回定時評議員会

1、評議員会の決議があったものとみなされた事項の内容

第1号議案 「令和2年度事業報告の承認」の件

令和2年度事業報告を評議員全員一致で承認した。

第2号議案 「令和2年度決算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書及び付属明細書並びに財産目録等）の承認」の件

令和2年度決算書類を評議員全員一致で承認した。

第3号議案 「任期満了に伴う評議員の選任」の件

石原英紀氏を評議員に選任することを評議員全員一致で同意した。

杉原登司夫氏を評議員に選任することを評議員全員一致で同意した。

永原和男氏を評議員に選任することを評議員全員一致で同意した。

野坂 裕氏を評議員に選任することを評議員全員一致で同意した。

藤田 勝氏を評議員に選任することを評議員全員一致で同意した。

森山信雄氏を評議員に選任することを評議員全員一致で同意した。

第4号議案 「任期満了に伴う役員（理事、監事）の選任」の件

安部信一郎氏を理事に選任することを評議員全員一致で同意した。

青砥誠一氏を理事に選任することを評議員全員一致で同意した。

安部紀正氏を理事に選任することを評議員全員一致で同意した。

澤田暉夫氏を理事に選任することを評議員全員一致で同意した。

藤田彰裕氏を理事に選任することを評議員全員一致で同意した。

米田裕幸氏を理事に選任することを評議員全員一致で同意した。

白鹿倭文氏を監事に選任することを評議員全員一致で同意した。

長澤広朋氏を監事に選任することを評議員全員一致で同意した。

2、評議員会の決議があったものとみなされた事項を提案した理事 安部信一郎

3、評議員会の決議があったものとみなされた日 令和3年6月26日

4、評議員会議事録の作成に係る職務を行った理事 安部信一郎

評議員数 5名 （同意書別添のとおり）

令和3年6月8日、理事 安部信一郎が評議員会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発した。その後評議員推薦者であった矢野初二氏の急死をうけ、令和3年6月11日に矢野氏にかわり森山信雄氏を評議員に推薦する旨の提案書を発した。

当該提案につき令和3年6月26日までに評議員の全員から書面により同意の意思表示を得たので、定款第23条（一般法人法第194条）に基づく評議員会の決議の省略の方法により、当該提案（第1号議案、第2号議案、第3号議案、第4号議案）を承認可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされた。

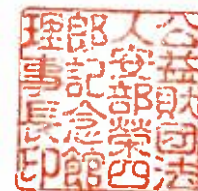
以上のとおり、評議員会の決議があったとみなされた事項を明確にするため、本議事録作成に係る職務を行った理事は、次に記名押印する。

令和3年 6 月 26 日

代表理事

安部信一郎





公益財団法人 安倍栄四郎記念館
令和3年第3回理事会

1、理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

第1号議案 代表理事(理事長)の選定について

当法人の代表理事(理事長)を安倍信一郎とすること。

第2号議案 業務執行理事(館長)の選任について

安倍栄四郎記念館の業務執行理事(館長)を安倍紀正とすること。

2、理事会の決議があったものとみなされた事項を提案した理事 安倍信一郎

3、理事会の決議があったものとみなされた日 令和3年6月26日

4、理事会議事録の作成に係る職務を行った理事 安倍信一郎

理事数 6名 (同意書別添のとおり)

令和3年6月11日、理事 安倍信一郎が理事会の決議の目的である事項について上記の内容の提案書を発し、当該提案につき令和3年6月26日までに理事の全員から書面により同意の意思表示を得たので、定款第38条(一般法人法第96条)に基づく理事会の決議の省略の方法により、当該提案(第1号議案及び第2号議案)を承認可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

以上のとおり、理事会の決議があったとみなされた事項を明確にするため、本議事録作成に係る職務を行った理事は、次に記名押印する。

令和3年 6月26日

代表理事 安倍信一郎

